

## 【実践① 英語コミュニケーションⅠ 領域：話すこと [やり取り]】

### 1 日時・実施場所

令和〇年〇〇月〇〇日 (〇) 第〇限 (〇〇 : 〇〇 ~ 〇〇 : 〇〇)

1-〇教室

### 2 学 級

〇〇科 第1学年〇組 (〇〇名)

### 3 学 級 観

まじめな生徒が多く、本文の内容や語句・表現の理解度が高い。表現活動にも意欲的に取り組むことができるが、文法・語法の面で正確な表現を意識しすぎるために、発話量や記述量には課題が残る。活動中の声かけや代表生徒の発表へのフィードバックを通して、誤りを恐れぬ姿勢を身に付けさせたい。

### 4 教 材

教科書 〇〇〇〇 English Communication I (〇〇社)

単元名 Lesson 〇 〇〇〇〇 (Part 4 pp.〇〇~〇〇)

### 5 単元の目標

オーバーツーリズムに関する英文を読んで、多すぎる観光客が引き起こす問題とその解決策について理解するとともに、外国人観光客を増加させることの是非についての自分の考えを表現することができる。

### 6 関係する領域別目標 (学年のCAN-DO)

学年等に応じて表現させる内容を調整します。

聞くこと	親しみのある身近なトピックについて平易な英語で、ゆっくりと話されれば、概要や主張、論点などの情報を適切に理解することができる。
読むこと	親しみのある身近なトピックについて、既知の語彙を活用しながら、時間をかけて読めば、300語程度の英文の概要や主張、論点などの情報を適切に理解することができる。
話すこと [やり取り]	親しみのある身近なトピックについて、相手の意見に耳を傾けながら、それに対する自分の意見を、具体的な理由と共に述べるができる。
話すこと [発表]	自分のことや、親しみのある身近なトピックについて、与えられたキーワードを手がかりにスクリプトを準備すれば、1分程度の英語で、情報や自分の意見を話すことができる。
書くこと	自分のことや、親しみのある身近なトピックについて、与えられたフォーマットを手がかりにして50~100語程度の英語で、自分の考えや経験などを書くことができる。

### 7 単元の評価規準 (五つの領域ごとの評価規準の設定)

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>オーバーツーリズムに関する文章を聞き取るために必要となる発音や語彙を理解している。</li> <li>オーバーツーリズムに関する文章を聞き取る技能を身に付けている。</li> </ul>	自分の考えを発表するために、オーバーツーリズムに関する文章を聞いて、概要や要点、詳細を整理して捉えている。	自分の考えを発表するために、オーバーツーリズムに関する文章を聞いて、概要や要点、詳細を整理して捉えようとしている。
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章を読み取るために必要となる語彙や仮定法を理解している。</li> <li>オーバーツーリズムに関する文章を読み取る技能を身に付けている。</li> </ul>	自分の考えを発表するために、オーバーツーリズムに関する文章を読んで、概要や要点、詳細を整理して捉えている。	自分の考えを発表するために、オーバーツーリズムに関する文章を読んで、概要や要点、詳細を整理して捉えようとしている。
話すこと [やり取り]	<ul style="list-style-type: none"> <li>やり取りをするために必要となる語彙や、相手もつ他の考えを尋ねる表現等を理解している。</li> <li>オーバーツーリズムの解決策や外国人観光客を増加させることの是非についてのやり取り</li> </ul>	相手の意見に耳を傾け、オーバーツーリズムについて聞いたり読んだりしたことを活用しながら、その解決策や外国人観光客を増加させることの是非についてのやり取りをしている。	相手の意見に耳を傾けながら、オーバーツーリズムについて聞いたり読んだりしたことを活用しながら、その解決策や外国人観光客を増加させることの是非についてのやり取りをしようとしている。

「5 単元の目標」を踏まえて領域ごと、観点ごとに評価規準を設定します。

	りをする技能を身に付けている。		
話すこと [発表]	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報や考えを述べるために必要となる語彙や因果関係を表す表現等を理解している。</li> <li>オーバーツーリズムの解決策や外国人観光客を増加させることの是非を、理由とともに話して伝える技能を身に付けている。</li> </ul>	聞き手に自分の考えをよく理解してもらえるように、オーバーツーリズムについて聞いたり読んだりしたことを活用しながら、オーバーツーリズムの解決策や外国人観光客を増加させることの是非を、理由とともに口頭で発表している。	聞き手に自分の考えをよく理解してもらえるように、オーバーツーリズムについて聞いたり読んだりしたことを活用しながら、オーバーツーリズムの解決策や外国人観光客を増加させることの是非を、理由とともに口頭で発表しようとしている。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報や考えを書いて伝えるために必要となる語彙や因果関係を表す表現等を理解している。</li> <li>オーバーツーリズムの解決策や外国人観光客を増加させることの是非についての考えを理由とともに書いて伝える技能を身に付けている。</li> </ul>	読み手に自分の考えをよく理解してもらえるように、オーバーツーリズムについて聞いたり読んだりしたことを活用しながら、オーバーツーリズムの解決策や外国人観光客を増加させることの是非について理由とともに書いて伝えている。	読み手に自分の考えをよく理解してもらえるように、オーバーツーリズムについて聞いたり読んだりしたことを活用しながら、オーバーツーリズムの解決策や外国人観光客を増加させることの是非について理由とともに書いて伝えようとしている。

## 8 パフォーマンステスト

### ○領域

話すこと [やり取り]

実際のコミュニケーションを想定して、やり取りを行う場面や状況、自分の立場、やり取りの相手などをできる限り詳細に設定します。

### ○内容

愛知県内の自治体に住む住民を想定し、将来的に訪日外国人観光客を増加させる政策について、賛成派と反対派の二手に分かれて1対1のロールプレイを生徒同士で行う。ペアは、事前にやり取りの活動を行った際のペアに基づき、教員が指定する。時間は2分間とし、まず自分の主張を理由と共に述べ、その後で政策を取り入れるべきか否かを、相手の意見を踏まえて話し合う。時間内に結論を出すことは求めない。

### ○採点の基準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	<ul style="list-style-type: none"> <li>語彙や表現が適切に使用されている。</li> <li>正しい発音やイントネーションで話して伝えている。</li> </ul>	「b」を満たした上で、具体的かつ詳細な理由や根拠を示しながら話して伝えている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「b」を満たした上で、具体的かつ詳細な理由や根拠を示しながら、話して伝えようとしている。</li> <li>相手とアイコンタクトをとりながら、やり取りにふさわしい声量で話して伝えようとしている。</li> </ul>
b	<ul style="list-style-type: none"> <li>多少の誤りはあるが、理解に支障のない語彙や表現を使って話して伝えている。</li> <li>理解に支障のない発音やイントネーションで話して伝えている。</li> </ul>	自分の意見を、理由とともに相手に伝えている。また、相手の意見を踏まえて発言している。	自分の意見を、理由とともに相手に話して伝えようとしている。また、相手の意見を踏まえて発言しようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

話し手側のルーブリック評価表ではありませんが、ここには聞き手としての評価も含まれています。別途、聞き手側のルーブリック評価表を作成し、併用することも可能です。

「十分満足できる」状況と判断されるもの：a

「おおむね満足できる」状況と判断されるもの：b

「努力を要する」状況と判断されるもの：c



6 (本時)	<p>■前時までに聞いたり読んだりした内容を基に Part 4 の内容を推測し、理由とともに話して伝える。</p> <p>①本文第1段落の記述に基づき、時間・場所・季節のいずれかの観点からオーバーツーリズムの解決策を考え、ワークシートに記入する。</p> <p>②自分の考えをペアで述べ合う。その際、聞き手は疑問点やさらに聞きたいことを質問するなどして、会話を継続させる。ペアを替え、計3回行う。</p> <p>③クラス全体で②の内容を共有する。板書される重要語句を確認する。</p> <p>④本文を読み、実際の取組のアウトラインをワークシートにまとめる。</p>	○	○	○	○	<p>【知】論理構成上必要な語句・表現を適切に使用しているか。</p> <p>【思】論理性に注意して文を作り、相手に伝えているか。概要や要点を適切に捉えているか。</p> <p>【態】積極的に自分の意見を伝えようとしているか。会話が継続するよう工夫しているか。</p> <p>○ワークシート</p> <p>○活動の観察</p>
7	<p>■前時までに聞いたり読んだりした内容とは異なる立場の主張を考え、訪日外国人観光客の増加政策に対する意見をまとめる。</p> <p>①観光客が増加するメリットについてペアで話し合う。その際、聞き手は疑問点やさらに聞きたいことを質問するなどして、会話を継続させる。ペアを替え、計3回行う。</p> <p>②クラス全体で①の内容を共有する。板書される重要語句を確認する。</p> <p>③観光客が増加する間接的なメリットを述べた記事の英文を聞き、その概要と主張をメモにまとめる。</p> <p>④音声のクリプトを読み、そこに使用されている語句・表現を確認する。</p> <p>⑤訪日外国人観光客の増加政策に対する意見を、賛成と反対の両面から、理由とともにワークシートに記入する。</p>	○	○	○	○	<p>【知】適切な語句・表現を使用しているか。語句・表現を理解しているか。</p> <p>【思】概要や要点を適切に捉えているか。論理性に注意して記述しているか。</p> <p>【態】積極的に自分の意見を伝えようとしているか。語句・表現を意見記述に生かそうとしているか。</p> <p>○ワークシート</p> <p>○活動の観察</p>
8	<p>パフォーマンステスト</p> <p>・将来的に訪日外国人観光客を増加させる政策について、賛成と反対のいずれかの立場からロールプレイを行う。自分の立場を理由とともに相手に伝え、相手の意見を踏まえてやり取りをする。</p>			知 思 態		<p>※採点の基準等は「8 パフォーマンステスト」を参照。</p> <p>○振り返りワークシート</p>
後日	定期考査	知 思	知 思			知 思

さまざまな領域の活動を有機的に関連付け  
統合的な言語活動の実現を目指します。

## 10 本時の目標

オーバーツーリズムへの対応策として京都市が実際にとった方法を予想し、自分の言葉で表現することにより、観光業の維持と観光客の分散との両立を図る方法について考えるとともに、因果関係の表現を身に付ける。

11 本時の展開（6／8時間）

時間	指導過程	生徒の学習活動	指導上の留意点・支援等
3分	Word Quiz	<ul style="list-style-type: none"> <li>予習してきた Part 4 の新出語句について、教師が黒板に書く語の発音と意味を答える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発音に際しては、強勢の位置に留意するよう指導する。</li> </ul>
3分	ライティング課題の提示	<ul style="list-style-type: none"> <li>ディクテーションの要領で、Part 4 の第1段落の音声を聞きながら、ワークシートの空欄を埋める。</li> <li>課題についての指示を聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の活動のキーワードである3語（time, place, season）を空欄にしておく。</li> </ul>
10分	ライティング	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間、場所、季節の三つの観点から考えられるオーバーツーリズムの解決策を、因果関係を表す語句を用いてワークシートに記入する。生徒は三つの観点のうち、教師に指定された一つを考え、記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペア・ワークのため、2列ごとに同じ観点を指定する。</li> <li>何を記入すればよいか分からない生徒が多く見られる場合には、従来見られた観光客の動向を説明し、その逆を考えるように助言する。</li> </ul> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">生徒のつまずきが予想される場合は、事前に対応策を考えておきます。</p>
8分	ペア・ワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>各自が記入したオーバーツーリズムの解決策を、ペアで述べ合う。パフォーマンステストを見据え、ペアを替えながら計3回行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞き手に対し、相手の提案に対する疑問点やさらに聞きたいことを質問するようにアドバイスする。</li> </ul>
6分	クラスでの共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間、場所、季節の各観点について、代表生徒がクラスに発表する。</li> <li>発表を聞き、メモを取る。</li> <li>板書された語句を、意味と発音の面から確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明に曖昧な部分がある場合、教師が質問する。</li> <li>生徒が発表で用いた語彙のうち、スピーキングテストに向けて習得すべき語句を板書する。</li> </ul>
10分	アウトラインの作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2段落以降の音声を聞きながら本文を読み、ワークシートに示されたアウトラインの空所を埋める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空所を埋めるだけでなく、完成したアウトラインと本文とを見比べさせ、メモの取り方を学ばせる。</li> </ul>
8分	音読 Repeating Buzz Reading Overlapping	<ul style="list-style-type: none"> <li>意味内容が相手に伝わるように音読する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>意味内容が相手に伝わるよう、強調すべき語句や話す速度、声の大きさなどに注意するよう指導する。</li> </ul>
2分	次時の予告	<ul style="list-style-type: none"> <li>オーバーツーリズムに対応するためには、経済業の維持も重要な観点であることを考えつつ、次時の活動についての説明を聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パフォーマンステストに向けた活動であることを確認させる。</li> </ul> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">生徒に学習の見通しをもたせることで主体的な学びの実現を目指します。</p>

## Lesson ○ What to Do with Too Many Tourists パフォーマンステストについて

### 次回の授業で、生徒同士のロールプレイによるパフォーマンステストを行います。

設定と方法、留意点、採点の基準は以下のとおりです。

#### 【設定】

- ・あなたは愛知県内の自治体に住む住民である。
- ・県は、将来的に外国人観光客を増加させるための政策を実行しようとしている。
- ・あなたは英語を母語とする有識者も参加する会議で、住民代表として意見を述べようとしている。

具体的な場面、状況、相手、立場などを詳細に示すことで、生徒のやり取りの内容をより適切なものにすることができます。

#### 【方法】

- ・制限時間は2分間とする。
- ・賛成派と反対派による1対1のロールプレイを行う。  
賛成派と反対派のどちらを担当するかは、その場でくじを引いて決める。  
また、ペアはこれまでの授業で活動した際のペアに基づき、当日指定する。
- ・流れは以下のとおり：
  - ①賛成派の人が、自分の主張を理由と共に述べる。
  - ②反対派の人が、自分の主張と理由を述べる。
  - ③相手の意見を踏まえて更に自分の意見を述べながら、時間いっぱいまで話し合う。

#### 【採点の基準】

- ・時間内に結論を出す必要はない。
- ・主張の内容やその理由は、授業で学んだことを踏まえていても、踏まえていなくてもよい。

ルーブリックを事前に生徒に示すことで、生徒はどの程度のパフォーマンスが求められているかを理解することができます。

#### 【ルーブリック評価表】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語彙や表現が適切に使用されている。</li> <li>・正しい発音やイントネーションで話して伝えている。</li> </ul>	<p>「b」を満たした上で、<u>具体的かつ詳細な理由や根拠を示しながら</u>、話して伝えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「b」を満たした上で、<u>具体的かつ詳細な理由や根拠を示しながら</u>、話して伝えようとしている。</li> <li>・<u>相手とアイコンタクトをとりながら</u>、<u>やり取りにふさわしい声量で話して伝えようとしている。</u></li> </ul>
b	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多少の誤りはあるが、理解に支障のない語彙や表現を使って話して伝えている。</li> <li>・理解に支障のない発音やイントネーションで話して伝えている。</li> </ul>	<p>自分の意見を、理由とともに相手に伝えている。また、相手の意見を踏まえて発言している。</p>	<p>自分の意見を、理由とともに相手に伝えようとしている。また、相手の意見を踏まえて発言しようとしている。</p>
c	<p>「b」を満たしていない。</p>	<p>「b」を満たしていない。</p>	<p>「b」を満たしていない。</p>

## Lesson 8 What to Do with Too Many Tourists 振り返りワークシート

今回のテストについて、ルーブリック評価表に基づき、あなたの取組を自己評価しましょう。

更に、その下の(1)～(4)について、振り返りコメントを書きましょう。

【ルーブリック評価表に基づく自己評価】 「自己評価」欄のa, b, cのいずれかに○をつけましょう。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	<ul style="list-style-type: none"> <li>語彙や表現が適切に使用されている。</li> <li>正しい発音やイントネーションで話して伝えている。</li> </ul>	<p>「b」を満たした上で、<u>具体的かつ詳細な理由や根拠を示しながら</u>、話して伝えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「b」を満たした上で、<u>具体的かつ詳細な理由や根拠を示しながら</u>、話して伝えようとしている。</li> <li><u>相手とアイコンタクトをとりながら、やり取りにふさわしい声量で話して伝えようとしている。</u></li> </ul>
b	<ul style="list-style-type: none"> <li>多少の誤りはあるが、理解に支障のない語彙や表現を使って話して伝えている。</li> <li>理解に支障のない発音やイントネーションで話して伝えている。</li> </ul>	自分の意見を、理由とともに相手に伝えている。また、相手の意見を踏まえて発言している。	自分の意見を、理由とともに相手に伝えようとしている。また、相手の意見を踏まえて発言しようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。
自己評価	a ・ b ・ c	a ・ b ・ c	a ・ b ・ c

評価文の上に○を付け、  
教員による評価を示すことも可能です。

### 【振り返りコメント】

(1) このレッスンの学習（パフォーマンステストだけでなく、学習全体。以下同じ）を通して、あなたができるようになったことは何ですか。

(2) このレッスンの学習の中で、あなたができなかったことは何ですか。

(3) 2で答えたことをできるようにするために、今後どんなことに、どのように取り組みたいですか。

(4) その他、このレッスンの学習の感想を書いてください。

この「振り返りワークシート」は、評価材料として教員で保管するほか、生徒に返却してポートフォリオを作成させるなどの活用方法が考えられます。後者については、次に同様の活動に臨む前に参照させることで、生徒の「自己調整」に生かすことができます。

1年( )組( )番 氏名( )

## Lesson ○ What to Do with Too Many Tourists (Part 4)

**Introduction** Listen to the CD and fill in the blanks.

(教科書第1段落の本文を、キーワードとなる3語を空欄にした上で掲載)

**Writing** Guess what Kyoto did to deal with the problem from one of the three viewpoints.

my focus: [ ]

.....

.....

### Useful Expressions : 因果関係を表す表現

- 原因  because S' V'    since S' V'    This is because S' V'    because of ~    due to ~
- 結果  so    therefore    thus    consequently    as a result
- so that S' (can/will) V'    This is why S' V'

### Presentation – Other Students' Ideas

focus 1: [ ] by ( )

focus 2: [ ] by ( )

focus 3: [ ] by ( )

**Vocabulary to Learn** Take notes and learn the vocabulary.

[ ]

**Outline** Read the passage and fill in the blanks.

(教科書にある、本文のロジックを示したフローチャートを掲載)